

# あふれる二期実力阻止の決意

一月九日、三里塚現地の千代田公民館で開かれた三里塚芝山連合空港反対同盟の旗びらきには、家族ぐるみ総結集の反対同盟はじめ勤労千葉や各地の三里塚実行委等全国から三五〇名の闘う労・農・学・市民が結集し、反動中曾根内閣の反対同盟解体二期着工攻撃をうちやぶり、「成田用水」粉砕一掃・27大結集で二期着工を必ずや阻止する決意をうち固めました。

## 実力闘争で必ず勝利かちとる

旗びらきの最初に、反対同盟を代表して挨拶に立った北原事務局長は、「八二年は石橋・内田両幹部の解任をめぐり、又、『成田用水』問題など、まさに試練の年だったが、断固としてはね返して自主基盤整備をうちぬいた。また反戦反核集会では万余の人民に三里塚の正義を明らかにした。反対同盟は本日をもって八三年の闘いの戦闘宣言を発する。実力闘争こそが唯一の勝利の道である」と挨拶しました。

## 裏切り者を打ち倒し、組織の団結を固める事が勝利の力

十名の代表で参加した勤労千葉を代表して、関川委員長は「とりまく情勢は厳しいが、中曾根内閣をぶっ倒し軍事大国化！改憲阻止に力強く前進しよう。今日、国鉄労働運動に対する攻撃や全民労協発足等をもみても、既成の労働運動指導部は骨ぬきにされており対決の軸を失っている。戦国時代以来城を陥す時には、城の内部に裏切り者をつくる事も、何百年にわたる敵の手段である。勤労千葉は、敵の攻撃と対決し、裏切り者を打ち倒して闘う。」と挨拶しました。

## 杉並ー船橋ー成田をつつむ大きな炎をもえたせよ

続いて、中江顧問がたち、「八三年政治決戦といわれるが、単に政治だけでなく、労働運動・市民運動もすべての闘いが決戦の年であり、勝利しなければならぬと思ふ。敵の攻撃は厳しいが、勝利の展望は昨年一年間の闘いの力強い前進の中に端緒が切りひらかれている。成田市議会への北原さん、杉並区議会への長谷川さん、そして私も船橋市議会にこの私たちの闘いをもち



（挨拶に立つ関川委員長）



なごやかな中にも闘いへの確信と決意がみなぎった旗びらき。

## 三里塚二期強行軍大化・改憲を狙う反動中曾根内閣を打倒しよう！

旗びらきには、東京実行委の浅田氏、関西実行委の山本安藤両氏をはじめ全国からかけつけた闘う仲間から次々と決意や挨拶がのべられ、さながら総決起集会のような熱気にあふれかえる集会となりました。

酒をくみかわし、歌がでるといふなごやかな雰囲気の中にも、二期着工は絶対に阻止してみせるといふ気概と自信がひしひしと伝わり、熱気あふれる旗びらきは大成功のうちを終了しました。

中曾根は、一九六八年の運輸大臣当時に「新東京国際空港ー三里塚空港のことーは米軍機用として使用する。極東の安全に責任を負う日本がそれを提供するの当然」と、三里塚空港の軍事利用を最初にとなた大臣であり、又、昨年「軍事併用ということならすぐできる」と関西新空港の軍事利用をとなた田中角栄の全面尻押しをうけて登場した内閣です。先日も破綻的予算の中にもかかわらず軍事費だけは大巾突出させ、又、三里塚と関西新空港用予算を別格として認める等、軍事大国化路線の軸に三里塚二期強行をすすめている事を公然とさせています。

われわれは、労働者・農民・人民にすべての犠牲をおしつける反動中曾根内閣の戦争政策を、反戦反核の砦に三里塚闘争の発展・勝利を通して、うち破っていかうではありませんか。労農連帯を更に強め、3・27に総結集しよう。

一月第三次統一行動を成功させ  
中江選挙闘争の勝利をかちとろう！  
「一人5票獲得運動」を強化しよう！